

オフィスのBCP対策に！



パソコン



複合機



ルーター



ビジネスフォン



会議ツール



小型サーバー



まとめて長時間給電！

例えば...

5名 × 約6時間

のオフィス業務が通常どおり可能！



BCP(事業継続計画)対策の給電課題を解決！

UPS無停電システム『TR1500-5120』

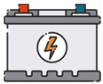
たくさんのオフィスで選ばれる 6つの理由

① 無瞬停だから、データも万全



停電が発生すると瞬時にバッテリー給電に切り替え、停電がなかったように作成中のPCデータもそのまま停電後も数時間作業を継続できます。BCP(事業継続計画)対策の給電課題を解決します。

② 5120Whの長時間運転



たとえば平均的なデスクトップPC + WiFiルーター及びビジネスフォンなどの通信機器の場合、20時間以上の連続運転が可能です(Whの意味は裏面に)。

③ 高コスパ & 高安定性



当製品の『ライン・インタラクティブ方式』は、オフィス機器の電源バックアップ装置として最適に設計されており、『常時インバーター方式』よりコスパが良く、『常時商用給電方式』より安定性に優れています(方式の詳細は裏面で解説しています)。

④ 一度の導入で長く安心運用



2000回以上の充放電サイクル寿命をもっており、1年の平均的な停電しなかった場合、おおよそ7年以上ご利用頂けます(正確な数値は利用環境により異なります)。メンテナンスは年に1回、1台あたり1時間のみです。

⑤ 導入実績多数



オフィスのほか、通信・放送機器や防災機器の非常時バックアップ電源として、数多くの企業様にご導入頂いています。取引先企業様には、誰もが知る大企業様も含まれています。

⑥ 長年の専門技術による信頼

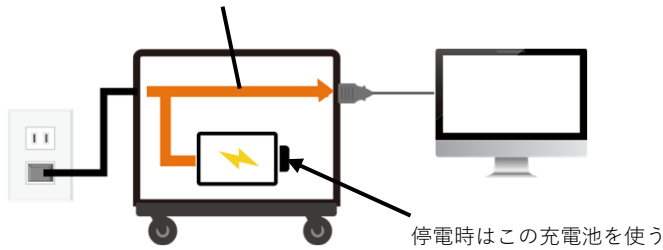


2002年の創業からカイレンは長きに渡り、様々なコンピュータシステムや通信・放送機器、防災機器、そして各種工場設備の非常時の給電課題を取り組んで参りました。この期間に起きた幾多の災害で実績を上げ続けたことで、今日の信頼を獲得しています。

Q. ライン・インタラクティブ方式 がオフィスに最適な理由は？

A. 電池の消耗が少ない（普通の『バイパス給電』*で消耗を抑える）

複雑な作業をせず、そのまま電気を通して（通常時）



→ 『バイパス給電方式』

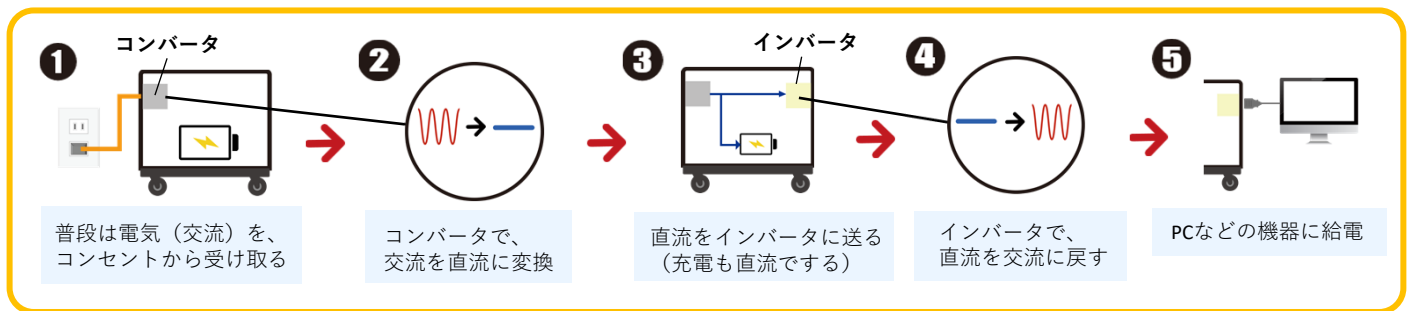
次で説明する「交流→直流の変換」などの複雑な作業をしない

【正確な説明】

通常時は電気(交流)を安定的に保ちながらそのまま給電

Q. 他の方式では普段どう給電するのか？（常時インバータ給電方式の場合）

A. 電気を『交流⇒直流⇒交流』と2回変換させる



いわば『小さな変電所』*のため **一瞬たりとも電気が途切れない**（停電時のバッテリー給電への切替時）

しかし...

ここまでの機能はほとんどのオフィス機器には不要

理由① ライン・インタラクティブ方式も 0.02秒で切り替えるので全く問題なし

瞬停（瞬間停電）を検知してから1/50秒以内に蓄電池給電に切り替えます。

理由② 常時インバータ給電方式は、常時一定の電力ロスがある上、装置も大型で高額

結論

上記2つの理由から、一般オフィスにはライン・インタラクティブ方式が最適

※【小さな変電所】交流入力を一度直流に変換し、常にバッテリー充電しながらインバータによって安定した交流に再変換し、電力を供給します。

Q. もう1つの方式 常時商用給電方式との違いは？

A. 『トランス』という部品があるかないか

→ トランスがあると、電圧変動に耐えられる（雷などのトラブルも安心）

普段バイパス給電をすることは、どちらも共通します。

